

令和6年度

地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

高原町

【本年度重点的に取り組む課題】

ボランティアが減少しているため、ボランティアの確保に努める。

【課題の詳細】

現在、ボランティアの方々による様々な支援等が行われているが、学校支援ボランティア数が年々減少傾向にあり、多様化する現在において、子どもの接し方も複雑であり、十分な知識も必要である。そのため、ボランティアの育成と確保が重要である。

【課題解決のために本事業で取り組むこと】

・ボランティアの募集を幅広く実施するとともに、研修会を実施し、学校や児童生徒の現状を把握しながら、ボランティアの質の向上とボランティア同士のつながりを通じて、協力体制を整えていく。

【本事業で達成する目標】

・ボランティアが減少しているため、まずはボランティアの確保に努める。具体的には、ボランティアの知識向上に繋がるような研修会（例えば学校や子供たちの現状を理解できる内容を盛り込むなど）を開催し、ボランティアの増加を目指す。

【目標の達成度を測る指標】

・地域ボランティアの人材及び人数の確保

現状の数値（R5 末）	本年度の目標値	本年度の実績値（R6 末）
72人	80人	66人

【目標に対する評価・分析】

学校支援のボランティアが減少している中、今年度は、区長会や個別の文書にてボランティアの加入について募集を行った。しかしながら、目標達成には届かず、減少していく一方であった。今後は、ボランティア研修会を開催しながら、研修会の参加メンバーや学校統廃合で設置された小中一貫教育校準備委員会等を通じ、文書での周知のみならず、直接話し合いの中で人員の確保をテーマに取り組んでいきたい。



地域と学校が一緒になって主体的に取り組む活動の在り方

本部名	高原町地域学校協働活動本部	連絡先：高原町教育委員会教育総務課 TEL：(0984) 42-1484 FAX：(0984) 42-3969
-----	---------------	---

1 活動の概要

対象学校名	高原小学校・広原小学校・狭野小学校・後川内小学校・高原中学校・後川内中学校		
活動分野	☒ 学習支援活動 ☒ 環境整備 ☒ 登下校の安全指導 ☒ 学校行事支援 ☒ 伝統芸能 ☒ その他（キャリア教育）		
【主な取組】			
・各学校と連携した環境整備（花いっぱい活動・清掃活動・移植整備） ・見守り活動（登下校見守り・あいさつ運動・放課後教室） ・授業等支援（伝統芸能保存・講話・昔の遊び・読み聞かせ・稲作体験・伝統文化・キャリア教育）			
【連携・協働している機関】			
地域住民（公民館・民生委員・地婦連・スポーツ推進委員・赤十字・伝統芸能保存会・神楽保存会・文化連盟）、学校職員及び生徒、アシスト企業、商工会、行政（教育総務課・総合政策課・産業創生課）、地域商社、観光協会、地域移住者、地域青年団、高齢者団体			
○地域学校協働活動推進員 1人（社会教育指導員） ○ボランティア登録者数 80人			

2 特色ある取組の紹介

① 「地域の文化やまつりごとの協働活動」

○ 活動内容

- ・各学校区には、それぞれ伝統的な文化やまつりごとがある。協働で取り組むまつりの運営に中学生が参画し、地域の方のお手伝いを行う。伝統芸能の棒踊りや和太鼓には、小学生が参画して保存の一助を担っている。このほか、地域の環境整備に児童・生徒だけでなく、PTA活動の一環で環境整備や花植えを主体的に行っている。同じ目的でともに助け合う姿が見られた。また、伝統文化を地域の方のお手伝いを借りながら継承でき、各学校で達成感があった。

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・地域が盛り上がり、そのお手伝いができて楽しかった。（生徒）
- ・神社周辺をみんなできれいにすることができてよかった。（保護者）
- ・まつりごとや伝統文化などを大切に感じる心を育てられた。（学校）



【伝統芸能の披露】

② 「地域と学校の連携・協働に向けたボランティア研修会」

○ 活動内容

- ・ボランティア研修会を実施して3年になる。今回は、三股町で活動されている内窪弘子氏を招いて思いや目的について話された。その後、グループ討議を通して、高原町の現状と課題、夢などを語り合えた希少な研修会だった。



【PTAによる花植え】

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・子どもたちの居場所づくりは、喫緊の課題である。（ボランティア）
- ・やってみたいことはあるが、リーダーシップをとれる方も必要ではないか。（ボランティア）
- ・地域の素材を生かし、ふれあいの場を作って家庭と連携していきたい。（ボランティア）



【研修会の様子】